

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成28年9月29日(2016.9.29)

【公表番号】特表2015-524713(P2015-524713A)

【公表日】平成27年8月27日(2015.8.27)

【年通号数】公開・登録公報2015-054

【出願番号】特願2015-526757(P2015-526757)

【国際特許分類】

A 6 1 B 17/24 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 17/24

【手続補正書】

【提出日】平成28年8月10日(2016.8.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ブライドルデバイスであって、前記ブライドルデバイスは、
回収部材と、前記回収部材に取り付けられた回収磁石とを有する回収部分と、
送達部材と、前記送達部材の遠位部分に対して移動可能である送達磁石とを有する送達部分と
を備える、ブライドルデバイス。

【請求項 2】

前記送達部材は、送達管であり、前記送達磁石は、前記送達管の中に受け取られた可撓性の細長い部材に取り付けられ、前記送達磁石は、前記送達管の外側に位置付けられ、前記送達管の遠位端に対して移動可能である、請求項 1 に記載のブライドルデバイス。

【請求項 3】

前記送達磁石は、接着剤、結び目、アイレット、および、筐体のうちの少なくとも 1 つによって前記細長い部材に取り付けられる、請求項 2 に記載のブライドルデバイス。

【請求項 4】

前記細長い部材は、パウチを備え、前記送達磁石は、前記パウチ内に受け取られる、請求項 2 に記載のブライドルデバイス。

【請求項 5】

前記送達管の壁は、実質的に、前記送達管の全長に沿って分離され、その結果として、前記分離された送達管の壁は、前記細長い部材が前記送達管内から除去されることを可能にする、請求項 2 に記載のブライドルデバイス。

【請求項 6】

前記分離された送達管の壁は、重複壁部分を備える、請求項 5 に記載のブライドルデバイス。

【請求項 7】

前記送達管の壁は、穿孔され、前記穿孔の除去は、前記送達管の壁を分離する、請求項 2 に記載のブライドルデバイス。

【請求項 8】

前記送達磁石は、前記送達管の遠位端に対して、前記送達管の長手方向軸の周りで回転可能である、請求項 2 に記載のブライドルデバイス。

【請求項 9】

前記送達磁石の両極は、前記送達管の外側に露出させられる、請求項 2 に記載のブライドルデバイス。

【請求項 10】

前記ブライドルデバイスは、前記送達管が個人の鼻の中に挿入されるときに前記送達管の中に受け取られた前記細長い部材における張力を維持するように構成される送達停止部をさらに備える、請求項 2 に記載のブライドルデバイス。

【請求項 11】

前記送達管は、前記送達磁石を前記個人の鼻咽頭に送達するための少なくとも 1 つの窓を有する鼻腔チューブ内に配置される、請求項 2 に記載のブライドルデバイス。

【請求項 12】

前記送達磁石は、立方体、長方形、円筒、ドーム、カプセル、タブレット、および、球体の形状のうちの少なくとも 1 つである、請求項 1 に記載のブライドルデバイス。

【請求項 13】

前記送達部材は、送達管であり、前記送達磁石は、磁性がある可撓性の細長い部材であり、前記細長い部材は、前記送達管の中に受け取られ、前記細長い部材の遠位端は、前記送達管の外側に延び、前記送達管の前記遠位部分に対して移動可能である、請求項 1 に記載のブライドルデバイス。

【請求項 14】

前記磁性がある細長い部材は、磁性繊維を有する織物構造である、請求項 13 に記載のブライドルデバイス。

【請求項 15】

前記送達部材は、扁平な遠位端と、前記扁平な遠位端における開口部とを有するへら形状である、請求項 1 に記載のブライドルデバイス。

【請求項 16】

前記回収磁石は、前記回収部材の遠位端に固定される、請求項 1 に記載のブライドルデバイス。

【請求項 17】

前記回収磁石の 1 つの極は、前記回収部材の外側に露出させられ、前記回収磁石の 1 つの極は、前記回収部材の中に受け取られる、請求項 16 に記載のブライドルデバイス。

【請求項 18】

前記回収部分は、扁平な遠位部分を有するへら形状の回収部材を備え、前記回収磁石は、前記扁平な遠位部分上に配置される、請求項 1 に記載のブライドルデバイス。

【請求項 19】

前記回収部材は、回収管であり、前記回収磁石は、前記回収管の中に受け取られた可撓性の細長い部材に取り付けられ、前記回収磁石は、前記回収管の外側に位置付けられ、前記回収管の遠位部分に対して移動可能である、請求項 1 に記載のブライドルデバイス。

【請求項 20】

前記回収磁石は、前記回収管の遠位端に対して、前記回収管の長手方向軸の周りで回転可能である、請求項 19 に記載のブライドルデバイス。

【請求項 21】

前記回収磁石の両極は、前記回収管の外側に露出させられる、請求項 19 に記載のブライドルデバイス。

【請求項 22】

前記送達部分の少なくとも一部分は、前記回収部分の少なくとも一部分に接続される、請求項 1 に記載のブライドルデバイス。

【請求項 23】

前記ブライドルデバイスは、U 字形状であり、前記 U 字の第 1 の側を形成する前記回収部分と、前記 U 字の第 2 の側を形成する前記送達部分とを伴う、請求項 22 に記載のブライドルデバイス。

【請求項 2 4】

前記送達部材は、送達管であり、前記送達磁石は、前記送達管の中に受け取られた第 1 の可撓性の細長い部材に取り付けられ、前記送達磁石は、前記送達管の外側に位置付けられ、前記送達管の前記遠位部分に対して移動可能であり、前記回収部材は、回収管であり、前記回収磁石は、前記回収管の中に受け取られた第 2 の可撓性の細長い部材に取り付けられ、前記回収磁石は、前記回収管の外側に位置付けられ、前記回収管の遠位部分に対して移動可能である、請求項 2 3 に記載のブライドルデバイス。

【請求項 2 5】

前記回収部分および前記送達部分は、ハンドルによって一緒に除去可能に接続され、前記ハンドルは、前記回収部分および前記送達部分を受け取るように構成されたチャンネルを備える、請求項 2 2 に記載のブライドルデバイス。

【請求項 2 6】

ブライドルデバイスであって、前記ブライドルデバイスは、

送達部分であって、前記ブライドルデバイスの前記送達部分は、個人の第 1 の鼻孔の中に挿入されるように構成されており、前記送達部分は、送達管と、前記送達管の中に受け取られた可撓性の細長い部材に取り付けられた送達磁石とを備え、前記送達磁石は、前記送達管の外側に位置付けられ、前記送達管の遠位部分に対して移動可能である、送達部分と、

回収部分であって、前記ブライドルデバイスの前記回収部分は、前記個人の第 2 の鼻孔の中に挿入されるように構成されており、前記回収部分は、回収部材と、前記回収部材に取り付けられた回収磁石とを備える、回収部分と

を備え、前記送達磁石と前記回収磁石とは、前記個人の鼻咽頭内で接続され、前記細長い部材は、前記第 2 の鼻孔から前記回収部分の前記回収部材を除去することによって、鋤骨の周りで前記個人の前記第 2 の鼻孔から引き出されるように構成されており、

前記送達管は、前記個人の前記第 1 の鼻孔から除去されるように構成されている、ブライドルデバイス。

【請求項 2 7】

前記送達部分の少なくとも一部分は、前記回収部分の少なくとも一部分に接続される、請求項 2 6 に記載の**ブライドルデバイス**。

【請求項 2 8】

前記送達部分および前記回収部分は、前記第 1 の鼻孔および前記第 2 の鼻孔の中に同時に挿入される**ように構成されている**、請求項 2 7 に記載の**ブライドルデバイス**。

【請求項 2 9】

前記送達部分の前記送達管および前記回収部分の前記回収部材は、前記第 1 の鼻孔および前記第 2 の鼻孔から同時に除去される**ように構成されている**、請求項 2 7 に記載の**ブライドルデバイス**。

【請求項 3 0】

前記送達管は、前記送達管が前記第 1 の鼻孔から除去されるときに前記細長い部材を覆って**スライドさせられるように構成されている**、請求項 2 9 に記載の**ブライドルデバイス**。

【請求項 3 1】

前記回収磁石は、前記回収部材の遠位部分に固定される**ように構成されている**、請求項 2 6 に記載の**ブライドルデバイス**。

【請求項 3 2】

前記回収磁石は、前記回収部材の遠位部分に対して移動可能である、請求項 2 6 に記載の**ブライドルデバイス**。

【請求項 3 3】

前記回収部材は、回収管であり、前記回収磁石は、前記回収管の中に受け取られた第 2 の可撓性の細長い部材に取り付けられる**ように構成されており**、前記回収磁石は、前記回収管の外側に位置付けられ、前記回収管の前記遠位部分に対して移動可能である、請求項 3

2 に記載の ブライドルデバイス。

【請求項 3 4】

前記細長い部材は、前記送達管から 除去されるように構成されている、請求項 2 6 に記載の ブライドルデバイス。

【請求項 3 5】

前記送達管は、実質的にその全長に沿ってスリットを備え、前記細長い部材は、前記スリットを通して前記送達管から 除去されるように構成されている、請求項 3 4 に記載の ブライドルデバイス。

【請求項 3 6】

前記可撓性の細長い部材は、前記送達磁石として作用する磁性部分を備える、請求項 2 6 に記載の ブライドルデバイス。

【請求項 3 7】

前記送達管は、前記送達磁石を前記個人の前記鼻咽頭に送達するための少なくとも 1 つの窓を有する鼻腔チューブ内に配置されるように構成されており、前記 鼻腔チューブ は、前記個人の前記第 1 の鼻孔の中に 挿入されるように構成されており、前記送達管は、前記鼻腔チューブから 除去されるように構成されている、請求項 2 6 に記載の ブライドルデバイス。

【請求項 3 8】

前記送達管は、透明であり、前記細長い部材は、視覚インジケータを備え、前記 送達磁石と前記回収磁石との間の接続は、前記送達管内の前記細長い部材の移動を監視することによって、判定されるように構成されている、請求項 2 6 に記載の ブライドルデバイス。

【請求項 3 9】

ブライドルデバイスであって、前記ブライドルデバイスは、

回収部材と、前記回収部材に取り付けられた回収磁石とを有する回収部分と、

送達管と、前記送達管の中に受け取られた可撓性の細長い部材に取り付けられた送達磁石とを有する送達部分であって、前記送達部分の少なくとも一部分は、前記回収部分の少なくとも一部分に接続され、前記送達磁石は、前記送達管の遠位部分に対して移動可能であり、前記送達磁石の両極は、前記送達管の外側に露出させられる、送達部分とを備える、ブライドルデバイス。

【請求項 4 0】

ブライドルデバイスであって、

回収部材と、前記回収部材に取り付けられた回収磁石とを有する回収部分と、

送達部材と、前記送達部材の遠位部分に取り付けられた送達磁石とを有する送達部分であって、前記送達磁石は、多面体として成形される、送達部分とを備える、ブライドルデバイス。

【請求項 4 1】

前記送達磁石は、6 面体として成形される、請求項 4 0 に記載のブライドルデバイス。

【請求項 4 2】

鼻腔チューブであって、前記鼻腔チューブは、
管腔と、

第 1 のフランジ部分および第 2 のフランジ部分であって、前記第 1 のフランジ部分および前記第 2 のフランジ部分は、前記管腔の長手方向軸の周りで前記管腔を円周方向に包囲し、前記第 1 のフランジ部分と前記第 2 のフランジ部分との間にチャンネルを形成する、第 1 のフランジ部分および第 2 のフランジ部分とを備える、鼻腔チューブ。

【請求項 4 3】

前記第 1 のフランジ部分および第 2 のフランジ部分のうちの少なくとも 1 つは、前記管腔から前記フランジ部分の外縁まで半径方向の方向に延びる開口部を備える、請求項 4 2 に記載の鼻腔チューブ。

【請求項 4 4】

前記鼻腔チューブは、弾性アームをさらに備え、前記弾性アームは、前記管腔から延び、前記チャンネルの中に配置されたブライドルラインの最上部を覆って巻き付けられることが可能である、請求項４２に記載の鼻腔チューブ。

【請求項４５】

前記第１のフランジ部分および第２のフランジ部分は、前記チャンネルの中に配置された前記ブライドルラインの最上部を覆って巻き付けられたときに前記アームの一部を定位置に保持する１つ以上のノッチを備える、請求項４４に記載の鼻腔チューブ。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００６

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００６】

これらおよび追加の実施形態は、下記の発明を詳しい説明の過程において明白になる。本発明は、例えば、以下を提供する。

（項目１）

ブライドルデバイスであって、前記ブライドルデバイスは、

回収部材と、前記回収部材に取り付けられた回収磁石とを有する回収部分と、

送達部材と、前記送達部材の遠位部分に対して移動可能である送達磁石とを有する送達部分と

を備える、ブライドルデバイス。

（項目２）

前記送達部材は、送達管であり、前記送達磁石は、前記送達管の中に受け取られた可撓性の細長い部材に取り付けられ、前記送達磁石は、前記送達管の外側に位置付けられ、前記送達管の遠位端に対して移動可能である、項目１に記載のブライドルデバイス。

（項目３）

前記送達磁石は、接着剤、結び目、アイレット、および、筐体のうちの少なくとも１つによって前記細長い部材に取り付けられる、項目２に記載のブライドルデバイス。

（項目４）

前記細長い部材は、パウチを備え、前記送達磁石は、前記パウチ内に受け取られる、項目２に記載のブライドルデバイス。

（項目５）

前記送達管の壁は、実質的に、前記送達管の全長に沿って分離され、その結果として、前記分離された送達管の壁は、前記細長い部材が前記送達管内から除去されることを可能にする、項目２に記載のブライドルデバイス。

（項目６）

前記分離された送達管の壁は、重複壁部分を備える、項目５に記載のブライドルデバイス。

（項目７）

前記送達管の壁は、穿孔され、前記穿孔の除去は、前記送達管の壁を分離する、項目２に記載のブライドルデバイス。

（項目８）

前記送達磁石は、前記送達管の遠位端に対して、前記送達管の長手方向軸の周りで回転可能である、項目２に記載のブライドルデバイス。

（項目９）

前記送達磁石の両極は、前記送達管の外側に露出させられる、項目２に記載のブライドルデバイス。

（項目１０）

前記ブライドルデバイスは、前記送達管が個人の鼻の中に挿入されるときに前記送達管の

中に受け取られた前記細長い部材における張力を維持するように構成される送達停止部をさらに備える、項目 2 に記載のブライドルデバイス。

(項目 1 1)

前記送達管は、前記送達磁石を前記個人の鼻咽頭に送達するための少なくとも 1 つの窓を有する鼻腔チューブ内に配置される、項目 2 に記載のブライドルデバイス。

(項目 1 2)

前記送達磁石は、立方体、長方形、円筒、ドーム、カプセル、タブレット、および、球体の形状のうちの少なくとも 1 つである、項目 1 に記載のブライドルデバイス。

(項目 1 3)

前記送達部材は、送達管であり、前記送達磁石は、磁性がある可撓性の細長い部材であり、前記細長い部材は、前記送達管の中に受け取られ、前記細長い部材の遠位端は、前記送達管の外側に延び、前記送達管の前記遠位部分に対して移動可能である、項目 1 に記載のブライドルデバイス。

(項目 1 4)

前記磁性がある細長い部材は、磁性繊維を有する織物構造である、項目 1 3 に記載のブライドルデバイス。

(項目 1 5)

前記送達部材は、扁平な遠位端と、前記扁平な遠位端における開口部とを有するへら形状である、項目 1 に記載のブライドルデバイス。

(項目 1 6)

前記回収磁石は、前記回収部材の遠位端に固定される、項目 1 に記載のブライドルデバイス。

(項目 1 7)

前記回収磁石の 1 つの極は、前記回収部材の外側に露出させられ、前記回収磁石の 1 つの極は、前記回収部材の中に受け取られる、項目 1 6 に記載のブライドルデバイス。

(項目 1 8)

前記回収部分は、扁平な遠位部分を有するへら形状の回収部材を備え、前記回収磁石は、前記扁平な遠位部分上に配置される、項目 1 に記載のブライドルデバイス。

(項目 1 9)

前記回収部材は、回収管であり、前記回収磁石は、前記回収管の中に受け取られた可撓性の細長い部材に取り付けられ、前記回収磁石は、前記回収管の外側に位置付けられ、前記回収管の遠位部分に対して移動可能である、項目 1 に記載のブライドルデバイス。

(項目 2 0)

前記回収磁石は、前記回収管の遠位端に対して、前記回収管の長手方向軸の周りで回転可能である、項目 1 9 に記載のブライドルデバイス。

(項目 2 1)

前記回収磁石の両極は、前記回収管の外側に露出させられる、項目 1 9 に記載のブライドルデバイス。

(項目 2 2)

前記送達部分の少なくとも一部分は、前記回収部分の少なくとも一部分に接続される、項目 1 に記載のブライドルデバイス。

(項目 2 3)

前記ブライドルデバイスは、U 字形状であり、前記 U 字の第 1 の側を形成する前記回収部分と、前記 U 字の第 2 の側を形成する前記送達部分とを伴う、項目 2 2 に記載のブライドルデバイス。

(項目 2 4)

前記送達部材は、送達管であり、前記送達磁石は、前記送達管の中に受け取られた第 1 の可撓性の細長い部材に取り付けられ、前記送達磁石は、前記送達管の外側に位置付けられ、前記送達管の前記遠位部分に対して移動可能であり、前記回収部材は、回収管であり、前記回収磁石は、前記回収管の中に受け取られた第 2 の可撓性の細長い部材に取り付けら

れ、前記回収磁石は、前記回収管の外側に位置付けられ、前記回収管の遠位部分に対して移動可能である、項目 2 3 に記載のブライドルデバイス。

(項目 2 5)

前記回収部分および前記送達部分は、ハンドルによって一緒に除去可能に接続され、前記ハンドルは、前記回収部分および前記送達部分を受け取るように構成されたチャンネルを備える、項目 2 2 に記載のブライドルデバイス。

(項目 2 6)

送達部分および回収部分を有するブライドルデバイスを使用して、個人にブライドルを留置する方法であって、前記方法は、

前記個人の第 1 の鼻孔において前記ブライドルデバイスの前記送達部分を挿入するステップであって、前記送達部分は、送達管と、前記送達管の中に受け取られた可撓性の細長い部材に取り付けられた送達磁石とを備え、前記送達磁石は、前記送達管の外側に位置付けられ、前記送達管の遠位部分に対して移動可能である、ステップと、

前記個人の第 2 の鼻孔において前記ブライドルデバイスの前記回収部分を挿入するステップであって、前記回収部分は、回収部材と、前記回収部材に取り付けられた回収磁石とを備える、ステップと、

前記個人の鼻咽頭内で前記送達磁石と前記回収磁石とを接続するステップと、

前記第 2 の鼻孔から前記回収部分の前記回収部材を除去することによって、鋤骨の周りで前記個人の前記第 2 の鼻孔から前記細長い部材を引き出すステップと、

前記個人の前記第 1 の鼻孔から前記送達管を除去するステップとを含む、方法。

(項目 2 7)

前記送達部分の少なくとも一部分は、前記回収部分の少なくとも一部分に接続される、項目 2 6 に記載の方法。

(項目 2 8)

前記送達部分および前記回収部分は、前記第 1 の鼻孔および前記第 2 の鼻孔の中に同時に挿入される、項目 2 7 に記載の方法。

(項目 2 9)

前記送達部分の前記送達管および前記回収部分の前記回収部材は、前記第 1 の鼻孔および前記第 2 の鼻孔から同時に除去される、項目 2 7 に記載の方法。

(項目 3 0)

前記送達管は、前記送達管が前記第 1 の鼻孔から除去されるときに前記細長い部材を覆ってスライドする、項目 2 9 に記載の方法。

(項目 3 1)

前記回収磁石は、前記回収部材の遠位部分に固定される、項目 2 6 に記載の方法。

(項目 3 2)

前記回収磁石は、前記回収部材の遠位部分に対して移動可能である、項目 2 6 に記載の方法。

(項目 3 3)

前記回収部材は、回収管であり、前記回収磁石は、前記回収管の中に受け取られた第 2 の可撓性の細長い部材に取り付けられ、前記回収磁石は、前記回収管の外側に位置付けられ、前記回収管の前記遠位部分に対して移動可能である、項目 3 2 に記載の方法。

(項目 3 4)

前記送達管から前記細長い部材を除去することをさらに含む、項目 2 6 に記載の方法。

(項目 3 5)

前記送達管は、実質的にその全長に沿ってスリットを備え、前記方法は、前記スリットを通して前記送達管から前記細長い部材を除去することをさらに含む、項目 3 4 に記載の方法。

(項目 3 6)

前記可撓性の細長い部材は、前記送達磁石として作用する磁性部分を備える、項目 2 6 に

記載の方法。

(項目 37)

前記送達管は、前記送達磁石を前記個人の前記鼻咽頭に送達するための少なくとも 1 つの窓を有する鼻腔チューブ内に配置され、前記ブライドルデバイスの前記送達部分を挿入する前記ステップは、前記個人の前記第 1 の鼻孔の中に前記鼻腔チューブを挿入することを含み、前記送達管を除去する前記ステップは、前記鼻腔チューブから前記送達管を除去することを含む、項目 26 に記載の方法。

(項目 38)

前記送達管は、透明であり、前記細長い部材は、視覚インジケータを備え、前記方法は、前記送達管内の前記細長い部材の移動を監視することによって、前記送達磁石と前記回収磁石との間の接続を判定することをさらに含む、項目 26 に記載の方法。

(項目 39)

ブライドルデバイスであって、前記ブライドルデバイスは、

回収部材と、前記回収部材に取り付けられた回収磁石とを有する回収部分と、

送達管と、前記送達管の中に受け取られた可撓性の細長い部材に取り付けられた送達磁石とを有する送達部分であって、前記送達部分の少なくとも一部分は、前記回収部分の少なくとも一部分に接続され、前記送達磁石は、前記送達管の遠位部分に対して移動可能であり、前記送達磁石の両極は、前記送達管の外側に露出させられる、送達部分とを備える、ブライドルデバイス。

(項目 40)

ブライドルデバイスであって、

回収部材と、前記回収部材に取り付けられた回収磁石とを有する回収部分と、

送達部材と、前記送達部材の遠位部分に取り付けられた送達磁石とを有する送達部分であって、前記送達磁石は、多面体として成形される、送達部分とを備える、ブライドルデバイス。

(項目 41)

前記送達磁石は、6 面体として成形される、項目 40 に記載のブライドルデバイス。

(項目 42)

鼻腔チューブであって、前記鼻腔チューブは、

管腔と、

第 1 のフランジ部分および第 2 のフランジ部分であって、前記第 1 のフランジ部分および前記第 2 のフランジ部分は、前記管腔の長手方向軸の周りで前記管腔を円周方向に包囲し、前記第 1 のフランジ部分と前記第 2 のフランジ部分との間にチャンネルを形成する、第 1 のフランジ部分および第 2 のフランジ部分とを備える、鼻腔チューブ。

(項目 43)

前記第 1 のフランジ部分および第 2 のフランジ部分のうちの少なくとも 1 つは、前記管腔から前記フランジ部分の外縁まで半径方向の方向に延びる開口部を備える、項目 42 に記載の鼻腔チューブ。

(項目 44)

前記鼻腔チューブは、弾性アームをさらに備え、前記弾性アームは、前記管腔から延び、前記チャンネルの中に配置されたブライドルラインの最上部を覆って巻き付けられることが可能である、項目 42 に記載の鼻腔チューブ。

(項目 45)

前記第 1 のフランジ部分および第 2 のフランジ部分は、前記チャンネルの中に配置された前記ブライドルラインの最上部を覆って巻き付けられたときに前記アームの一部分を定位置に保持する 1 つ以上のノッチを備える、項目 44 に記載の鼻腔チューブ。